敗戦

絶対国防圏の崩壊後、サイパン島から飛来する米軍機の本土空襲が激化した。衣食・その他の物資が不足していたところに、本土空襲が加わり、人々の厭戦気分が徐々に醸成された。連合国は、戦争の裏で対日処理を討議し、ポツダム宣言という形で結実させた。原爆の投下を経て、日本は宣言を受諾し、敗戦を認めた。

○国民生活の崩壊

●総力戦

開戦後、日本は民需生産の工場を軍需工場へ転用し、軍需生産を優先した。
→また、国民に対しては生活の切り詰めと兵力・労働力の動員をおこなった。
⇒1943 年、学生を動員する次の 2 策が実施され始めた。
① … 在学中の徴兵猶予制を廃止し、文科系学生を軍に徴集



図1 勤労動員

◇(3) …労働力不足を補うため、25 歳以下の未婚の女性で組織した勤労団体

…学生・生徒や⁽³⁾ の女性を軍需工場で動員

●品不足

 $(2)^{(2)}$

制海・制空権の喪失で、軍需生産に必要な鉄鉱石・石炭・石油も欠乏した。

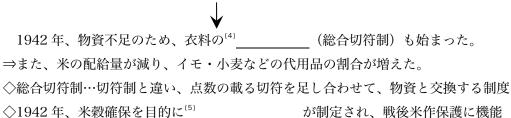




図2 代用燃料車 *木炭・薪を燃料に利用

●空襲の激化

1944 年の⁽⁶⁾ _______ 陥落以降、同島からの米軍機で、本土空襲が本格化した。
→空襲は、軍需工場の破壊から戦意喪失のための都市爆撃へと次第に変わった。
⇒都市で、防空壕の掘削、工場の移転、生徒の集団疎開⁽⁷⁾ ______ が始まった。



図3 B29の爆撃

○敗戦

●玉砕覚悟の戦闘

<小磯国昭内閣 | 1944 年7月~1945 年4月>

1944年7月、陸軍大将⁽⁸⁾______が首相、海軍大将米内光政が副首相格の、 陸海軍の連立内閣が組織された。



1944 年 10 月、レイテ島海戦

- …米軍のレイテ島上陸作戦を阻止するため、日本海軍がおこなった海上戦
- …海軍が、神風特別攻撃隊(特攻隊)による体当たり攻撃をはじめて実施



1945年2~3月、硫黄島の戦い

…サイパン島から東京へ向かう中継基地とするため、米軍が硫黄島を奪取





図4 小磯国昭



図5 特攻を見送る女学生



図6 特攻する艦上爆撃機

1945年3月10日、(9)	
B29 約 300 機が、東京の下町へ2時間半にわたっておこなった焼夷弾爆撃	
→ 1 945 年 4 月、 ⁽¹⁰⁾ 開始	
1945 年4月、	么 粉
…男子中学生の鉄血勤皇隊や[1] など女学生の看護要員が多数物	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	我们
▼ (8) 内閣は、米軍の沖縄上陸で今後の見通しを失い、総辞職した。	
●対日処理の会談と宣言	
1943年11月、 ⁽¹²⁾	
…米大統領フランクリン=ローズヴェルト・英首相チャーチル・	
国民政府主席 蔣 介石が集まり、発表した対日戦遂行・処理案	
…対日戦終了後の満州・台湾の返還や朝鮮の独立などを宣言	
7月日刊(1月10日日) 日日の紀本(中月110日年)	
1945年2月、(13)	
	会談
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
②ソ連への南樺太の返還および千島列島の譲渡	> 1/
1945 年 7 月、(14)	
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	≓
…終戦条件は、無条件降伏、戦争犯罪人の厳罰など(国体護持の保証は言及な)	
●敗戦	
<鈴木貫太郎内閣 1945 年 4 月~1945 年 8 月>	
小磯内閣の総辞職後、(15)が内閣を組織した。	
lack	
1945 年 5 月、ドイツが無条件降伏した(イタリアの降伏は 1943 年 9 月)。	
⇒日本の軍部は本土決戦を叫び、(15)内閣はソ連に和平交渉の仲介を計画した。	
lack	
アメリカは、7月のポツダム宣言に対する日本の反応を「拒否」と捉えた。	
⇒1945 年 8 月、米国は、 ⁽¹⁶⁾ ・ ⁽¹⁷⁾ た ⁽¹⁸⁾ を投下した。	た。
◇同月、ソ連が日ソ中立条約を無視して日本に宣戦し、満州・朝鮮・南樺太に侵力	
₩田和天皇の「聖断」でポツダム宣言の受諾が決まり、	
8月14日、日本政府はこれを連合国に通告した。	
⇒8月15日、天皇のラジオ放送「玉音放送」で戦争終結が全国民に発表された。	
<(19) 内閣 1945 年8月~1945 年 10 月>	
1945 年 9 月 2 日、降伏文書の調印(公式の終戦)	
…外相重光 葵 と梅津美治郎参謀総長が、米戦艦ミズーリ号の艦上で調印	





図8 ヤルタ会談



図9 ポツダム会談





図11 8月9日の長崎





図13 降伏文書の調印